

ふるさとの会の沿革

ボランティアサークルふるさとの会 活動開始

1990年	「ボランティアサークルふるさとの会」を設立。毎日曜の炊き出し(おにぎり味噌汁)、高齢路上生活者を対象とした、隔週の給食・相談・娯楽提供プログラム、夏祭り、越年行事を主な活動とする
1995年	「高齢路上生活者自立支援センター」設立。設立時の立ち上げ資金として、ハウジング&コミュニティ財団より助成を受け、マンションの一室でリビングサービス「共同リビング」プログラムを開始
1998年 4月	「自立支援センター」の活動実績が認められ、東京都地域福祉財団より助成を受ける
1999年 6月	東京都第二種社会福祉事業宿泊所「ふるさと千束館」開設

特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会 設立

1999年 10月	NPO法人格を取得。「特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会」としてスタート
2000年 8月	単身女性を対象とした宿泊所「ふるさと日の出館」開設
2001年 4月	東京都城北福祉センター分館・敬老室 再委託による運営開始
6月	「ふるさとあさひ館」ならびに「訪問ヘルパーステーションふるさと」開設
8月	「日米ホームレスサービス供給者交流プログラム」に参加
12月	「就労支援ホーム・なすな」開設
2002年 3月	「自立支援センター墨田寮」生活相談業務を再委託により開始
2002年 8月	「ふるさとせせらぎ館」を墨田区に開設
11月	「ヘルパーステーションふるさと」をいろは商店街内に移転
2003年 4月	厚生労働省より「日雇い労働者等技能講習事業」を委託 更生施設等の清掃業務受託を開始
7月	「いろは会商店街をよくする会」を商店街と結成。いろは商店街清掃を開始
10月	「ヘルパーステーションふるさと」居宅介護支援事業を開始
2004年 5月	ふるさとの会本部事務所、ヘルパーステーションふるさと事務所を千束四丁目に移転
2004年 11月	「精神障害者 グループホーム ふるさとホーム」を墨田区に開設
2004年 12月	平成16年度「ホームレス地域生活移行支援事業」を開始。 生活サポート及び就労サポート業務受託
2005年 4月	職業紹介・人材派遣事業所「ワークステーションふるさと」開設
2005年 6月	更生施設及び一般居宅被保護者等への「技能講習プログラム」提供開始 「自立援助ホームふるさと東駒形荘」を墨田区駒形に開設 「地域生活支援センター「すみだ」」を墨田区向島に開設
2005年 10月	「自立援助ホームふるさとホテル三晃」を台東区清川に開設
2005年 12月	「ふるさと入谷給食センター」を台東区入谷に開設
2006年 3月	苦情解決第三者委員会設置
2006年 4月	平成18年度「ホームレス地域生活移行支援事業」を開始
2007年 2月	「自立支援センター墨田寮」生活相談業務の委託が終了
2007年 3月	厚生労働省「日雇い労働者等技能講習事業」の委託が終了
2007年 4月	雇用弱者の求人開拓を目的とした「株式会社ふるさと」を設立 ホームレス就業支援推進協議会に職員を派遣
2007年 8月	精神障害者グループホーム 第2ユニットを開設
2008年 3月	「ホームレス地域生活移行支援事業」就労サポート業務の委託が終了
2008年 4月	墨田区より「元ホームレス自立生活支援プログラム事業」を受託 生活再建相談センター設立
2008年 8月	「山谷地域ケア連携をすすめる会」を共同立ち上げ
2008年 12月	就労支援ホーム「2丁目ハウス」ならびに「はるかぜ」を開設 有限責任事業組合新宿・山谷ネットワークを設立 ふるさと共済会を発足
2009年 2月	「高齢被保護者等の地域における居住確保とケアのニーズ調査及びシステム構築の方法に関する研究会」(略称:支援付き住宅研究会)発足 「相談室ふらっと」発足
2009年 4月	特定非営利活動法人すまい・まちづくり支援機構を設立 精神障害者グループホームショートステイ事業開始
2009年 5月	「自立援助ホームふるさと晃荘」を開設
2009年 7月	触法障害・高齢者等を支援するため「同歩会」設立。更生保護法人として法務大臣より認可 平成21年度社会福祉推進費補助金(社会福祉推進事業)の申請が受理(「高齢被保護者等の地域における居住確保とケアのニーズ調査及びシステム構築の方法に関する研究」事業)
2009年 9月	保護司として2名が委嘱
2009年 12月	東京都より「緊急就労・居住支援事業」を受託
2010年 2月	「ふるさと寿々喜屋ハウス」を開設
2010年 3月	「旅館・朝日館」を開設(旅館業)